地域教育推進ネットワーク
東京都協議会
活動報告

東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課

地域教育推進ネットワーク東京都協議会

地域教育推進ネットワーク東京都協議会

ネットワーク協議会は、学校と、企業・大学・ＮＰＯ等とのネットワークをつくり、子供たちの教育活動を豊かにすることを目的に、東京都教育委員会が平成１７年８月に設立しました。

企　業

大　学

ＮＰＯ

文化団体

スポーツ団体

地域教育推進ネットワーク
東京都協議会

教育プログラムの効果的な活用
新たな教育コンテンツを提供
＜プログラムアドバイザーの配置＞

地域住民と企業等の
協議の場を設定
＜フォーラムの開催＞

地域・企業等と学校をつなぐ人材の
スキルアップ支援
＜コーディネーター研修の企画・実施＞

ＨＰ、広報誌等による取組の紹介

小・中学校
（地域学校協働本部）

学校教育活動への支援
・総合的な学習の時間、教科
・キャリア教育

放課後活動等への支援
・放課後子供教室
・地域未来塾

都立学校

都立高校
・都独自教科「人間と社会」
・キャリア教育

都立特別支援学校
・放課後子供教室

地域教育推進ネットワーク東京都協議会

地域教育推進ネットワーク東京都協議会は、学校と企業・NPO等とをつなぎ、新学習指導要領のポイントである「社会に開かれた教育課程」の実現を支援します。

新学習指導要領の実施に向けて、学校は、子供たちの実態や地域の状況、自校と社会とのつながりを把握しながら、学校全体で社会とつながる教育課程を編成していく必要があります。そのためには、地域や企業等、外部の人的・物的資源を効果的に活用することが大切です。

しかし、学校が企業等の教育プログラムの情報や、具体的な活用事例を把握することは難しい状況にあります。地域教育推進ネットワーク東京都協議会（以下「ネットワーク協議会」という。）では、プログラムアドバイザー※を配置し、学校の負担を軽減しながら外部資源の効果的な活用ができるような取組を実施しています。

※プログラムアドバイザーとは　企業等の教育プログラムの効果的な活用を推進するために、ネットワーク協議会に2つの分野の「プログラムアドバイザー」を配置し、学校の希望に応じて助言や授業の実施支援を行っています。

Ⅰ 教科で企業等の専門分野を学ぶことを支援

Point
- 企業の専門分野に触れた参加型の授業（理科、社会等）が可能
- プログラムアドバイザーが教育現場のニーズに合った教育プログラムを作成
- プログラム作成後はプログラムアドバイザーが学校との連絡調整を担当

これまで、企業等の教育プログラムは、主として「総合的な学習の時間」で活用されてきました。今後、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、教科でも学校と社会がつながる授業として、企業等の教育プログラムを活用していくことも効果的です。企業等と開発した、様々な教科で活用できる教育プログラムの中から、4つのプログラムを紹介します。

教科学習支援分野のプログラムアドバイザー
協力団体：NPO法人企業教育研究会
https://ace-npo.org/

企業等と連携した授業例の紹介

「みんなで学ぼう クルマの安全」

コマ数：45分×1、2コマ
対　象：小学校1～6年生
内　容：自動車メーカーの社員が、危険予知の映像と副読本を使いながら、クルマの機能と安全な乗り方を解説
関連する教科等：3、4年生：社会（安全を扱う単元）、5年生：社会（工業生産を扱う単元）、安全教室

教員の声
- シートベルトの正しい締め方は保護者も「知らなかった！」と驚いていました。衝突実験の映像も子供たちの印象に強く残りました。
- ドア1枚でも多くの部品でできているなど自動車会社ならではの解説は、社会科の工業生産の単元に入ったときに思い出せようと考えています。

「考え、議論する道徳・キャリア教育 ～その日、教室が『会社』になる～」

コマ数：50分×2コマ
対　象：中学生
内　容：映像教材を見ながら、未来の世界で観光業を営む会社の社員として、経営課題に対して真剣に考え議論する。
関連する教科等：道徳、社会科（公民分野）、総合的な学習の時間（キャリア教育）

教員の声
- 「意思決定シミュレーションゲーム」と銘打ったこの授業。子供たちが、これから正解のない問題に遭遇したとき、何を優先し選択していくか、その判断の拠り所を教えてくれた授業だった。
- 新学習指導要領に掲げる「どのように学ぶか。」を体現化している教科横断型授業として、様々な角度から取り組める教材になるのではないか。

「未来実現ＩＴ教室 ～みんなでチャレンジ！ITエンジニア」

コマ数：45分×2コマ
対　象：小学校5、6年生
内　容：ITエンジニアになり、色に反応して動くセンサーロボットと地図を使いながら、街の配達システムを考え合う。
関連する教科等：産業や情報化を扱う単元、プログラミング教育

教員の声
- 後期に学習する「社会を変える情報」の内容と合致しており、学習するすべてのことがキャリア教育含め今後に生かされる事がわかる内容でした。
- 授業の日の下校時に「またITの勉強をやりたい！」という子供たちも多く、違う内容のプログラミング学習も是非やってみたいと思いました。

「キャラクターのジェスチャーを考えよう！」

コマ数：45分×1、2コマ
主たる対象：小学校5、6年生
内　容：海外版のゲームを作るために、新しく登場するキャラクターの喜怒哀楽のジェスチャーを考え合う。
関連する教科等：外国語、外国語活動

教員の声
- 仮想のBOSSからの英語の指示と、社員の説明で授業が進行するが、映像教材もあり、子供たちは英語に抵抗なく内容に入っていった。
- 企業では様々な国の人が働いていること、そして英語が大事なことを社員の方から伝えていただいたことで、続く授業での工夫につながるプログラムだった。

Ⅱ 学びと社会・将来について生徒が主体的に考えることを支援

Point
- 「働くこと」、社会の中で自らの役割を考える授業づくりが可能
- 自社の企業説明等、企業負担の少ない形で教育支援活動を実現
- プログラムアドバイザーが複数のゲスト講師及び学校との連絡調整を担当

新学習指導要領では、その総則で「児童生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要となる基盤・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。」と示されました。

社会人・企業人による授業と前後の授業のつながりや、学級活動・学校行事と関係付けた活用等を工夫しながら、キャリア教育の視点で外部の教育プログラムを活用することもできます。

ここでは、キャリア教育支援分野のプログラムアドバイザーが作成した「お手紙プロジェクト」を紹介します。

キャリア教育支援分野のプログラムアドバイザー
協力団体：一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会
http://www.human-edu.jp/

子供たちが自ら社会人に手紙を書くプロジェクト型職業人講話　お手紙プロジェクト

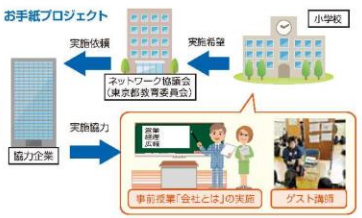
対象：小学校5、6年生
内容：会いたい社会人に想いを伝える手紙を工夫して書く、相手の立場に立っておもてなしを考える等の主体的な活動に挑戦することを通して、働くこと・職業に触れ、教科の学びとつながるキャリア教育を実践

■進行例

	項　目	コマ数	児童の活動	
1	事前授業「会社とは」	1、2	会社の業務紹介と、様々な職種の社員の方から各々の仕事内容についての説明を聞く。	企業の協力
2	職業調べ	4	自分の「好き」からつながる職業、職種を調べる。	
3	質問を考え手紙を書く	2～4	調べてもわからないこと、聞いてみたいことを考え、会いたい社会人に手紙を書き、送る。（→社会人から、当日のゲスト講師が可能かの返事が届く。）	
4	当日の準備	4～	当日のおもてなしを考え、お迎え、接待、会場づくり等、チームで役割分担を決め、準備する。	
5	授業当日（ゲスト講師からのお話）	2	全体で20名程度のゲスト講師の中から、希望した講師を含む3名の講師から話を聞き、質問する。	企業の協力
6	振返り	2	お礼の手紙を書く。チームで良かったこと、できなかったことについて振り返る。	

児童の感想
違う職業の方から、「コミュニケーション力が大事」「仕事のやりがいは相手に喜んでもらえること」という話を聞いた。職業について興味がわいたので、誰かを幸せにできる仕事について考えていきたい。

教員の声
仕事調べではなく、働く人の気持ちを知り、働くとはどういうことかを子供たちが真剣に考える授業を実施したかったので、このプログラムを活用している。プログラムアドバイザーが教員のパートナーとして企業等との間をつなぎ、ワークシートや必要な様式等が準備されているので、安心して実施できた。



地域学校協働活動推進フォーラム

教育プログラムオンライン見本市

※令和４年度フォーラム特設サイト（令和４年２月末に公開終了）

地域学校協働活動推進フォーラム

紹介動画アーカイブ

『令和4年度地域学校協働活動推進フォーラム』より紹介動画アーカイブの紹介

「令和4年度地域学校協働活動推進フォーラム（令和4年12月10日開催）」において、学校と地域の連携協働をテーマに、多様な取組事例についてテーマ別分科会行いました。その際の事例動画を紹介しています。

（A）1　コミュニティ・スクールの導入

- 学校運営協議会委員のためのコミュニティ・スクール理解～CS委員になるってどういうこと～

（B）2　小学校における多様な地域学校協働活動の展開

- 放課後等の学習支援の多様な取組について～知りたい地域未来塾等の課題や工夫～
- PTA等保護者と地域学校協働活動との関わりや連携について～どこが違うの“本部”と“PTA”～

（C）3　中学校における多様な地域学校協働活動の展開

- CSや地域学校協働本部による居場所づくりの可能性～中学生に寄り添う取組から～
- 放課後等における中学校の学習支援の取組に学ぶ～知りたい！人材確保や工夫～

取組をネットワーク協議会のホームページで紹介

東京都生涯学習ホームページを活用し、学校と地域・企業等が連携・協働した取組やフォーラム等の報告、会員団体の教育プログラムを紹介しています。

東京都　ネットワーク